

時間学特別セミナー



平安朝文学の時間意識 — 『蜻蛉日記』を中心に —

日時：2012年11月30日（金）10:20～11:50

場所：吉田キャンパス共通教育棟3番教室

◇ 開会の辞 山口大学時間学研究所長 進士 正人

◆ 講演 宮崎 莊平 先生

（新潟大学名誉教授・山口大学時間学研究所客員教授）

平安朝物語文学の幕開けを告げた『竹取物語』の時間意識とはどのようなものであったか。あるいは、物語文学の達成した姿とされる『源氏物語』の時間意識とはいかなるものか。そして、これら虚構の作品に見られる時間意識に対し、同じく平安朝に花開いた女流日記文学の時間意識とは。『蜻蛉日記』を取り上げ、そこに内在する時間意識を探る。

講師経歴：藤女子大学文学部、新潟大学人文学部・大学院、國學院大學文学部・大学院各教授を歴任。全国大学国語国文学会常任理事、中古文学会常任委員、日記文学会代表を歴任。



山口大学時間学研究所客員教授による特別セミナーを開催致します。
皆さまのご来聴を歓迎いたします。

お問い合わせ：平 田 083-933-（5848）